

産地情勢 (2024.2.9)

ブラジル産とうもろこし

Conab は、高温乾燥による作付面積と単収減少で 23/24 年度の生産見通しを 0.9 百万トン引き下げ 117.6 百万トンとした。10 月の高温乾燥気候が災いした。(1 月 11 日)

大豆の作付遅れでサファリ・コーンの作付けが増加しつつある。(11 月 29 日)

クロープ カレンダー	作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・コーン (夏作)	8-9 月	11-12 月	2-5 月	22%	主に国内飼料需要向
サファリ・コーン (冬作)	1-3 月上旬	4 月	6-8 月	76%	輸出の中心 大豆収穫後に作付

ブラジル産大豆

収穫は 16%進捗した。(平年 10%) 収穫が進むにつれ 10-11 月の高温乾燥時に成熟期を迎えた早蒔き大豆の低単収が明らかとなっている。(2 月 7 日)

ブラジル国家食糧供給公社は、高温乾燥による作付面積と単収減少で 23/24 年度の生産見通しを 4.9 百万トン引き下げ 155.3 百万トンとした。(1 月 11 日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープ カレンダー	9 月-12 月初め	1 月	1 月-4 月

アルゼンチン産とうもろこし

ブエノスアイレス穀物取引所は 2023/24 年度の生産予想を 150 万トン増加し、5650 万トンとした。(1 月 30 日)

作付けは 85%進捗した。天候は改善し生産量は当所見通しより増加しそうである。(1 月 16 日)

とうもろこしの作付けができなかった生産者が大豆に転換してとうもろこしの作付面積が減少するとみられる。(11 月 15 日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は 2 段階に分かれる。	9-11 月始め	12-1 月	3-4 月

	12-1月	3-4月	6-7月
--	-------	------	------

アルゼンチン産大豆

開花は50%進捗した。

作付けは93%進捗した。天候は改善し生産量は当所見通しより増加しそうである。(1月16日)

北部産地で早植えのとうもろこしの作付けができなかった生産者が大豆に転換して大豆の作付面積が増加するとみられる。(11月15日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクropp カレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測 (2月8日)

とうもろこし

(百万トン)

	2021/22	2022/23	2023/24
米国 (9-8月)	381.5	346.7	389.7
ブラジル (3-2月)	116.0	137.0	124
アルゼンチン (〃)	49.5	34.0	55

・米国は2023/24年度の工業需要が10百万ブッシェル減少した為、期末在庫率は14.9%に0.1%増加した。

・ブラジルは2023/24年度が生産量が3百万トン減少。

・アルゼンチンは2022/23年度が生産量が百万トン増加。

大豆

(百万トン)

	2021/22	2022/23	2023/24
米国 (9-8月)	121.5	116.2	113.3
ブラジル (2-1月)	130.5	162.0	156
アルゼンチン (4-3月)	43.9	25.0	50

・ブラジルの2022/23年度が生産量が2百万トン増加、23/24年度は百万トン減少した。

*北半球の穀物年度は21/22の場合、2021年の月から始まるが南米は2022年の月から始まる。(USDA)